



大阪府立 九条南小学校

三年 長江 朋樹

みんなでヘルメットをかぶろう

ぼくは、自転車に乗る時にヘルメットをかぶっています。なぜなら、交通事故にあったときに、頭を守ってくれるからです。

でも、まちでヘルメットをかぶっていない人がほとんどです。かぶらない理由を考えてみました。

まず一つ目は、面どうくさいからです。急いでいたり、かつこ悪いと思っっている人がいると思います。

二つ目は、自分が事故にあわないと思っっているからです。信号を守っているから大じょうぶだと油だんしているからだと思います。

三つ目は、買うのにお金がかつこうかかるからだと思っます。お父さんから五千円い上する物が多いと聞っいておどろきました。

でも、高いから面どうくさいからと言っつかぶらないのは、

とてもキケンだと思っます。車の方からぶつかつてきたりして、自分が気をつけていたとしても事故にあうかうせいがあります。

なので、ぼくは一人でも多くの人がヘルメットをかぶるようになってほしいと思っます。

そのためにはまず、大人がヘルメットをかぶるようにしてほしいです。大人が子どもの見本にならないと、子どもがかぶらなくていいと思っます。

次に、自分の命を守るためのヘルメットということをつた一つです。頭のケガは死ぬこともあるので、大人も子どももヘルメットをかぶりましょう。

ぼくは、すでにヘルメットをかぶっているのだからは広めていきたいと思っます。家族やおじいちゃん、おばあちゃんとか友だちにすすめていきます。

そして、ぼくは大人になつても、ヘルメットをかぶりつづけていきます。